

やさいレポート（令和8年8月号）



だいこん



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○163 円/kg（8月4日）

➤ 平年比：154%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○236 円 /kg

（7月10日全国平均）

➤ 前月比：118%、平年比：123%

➤ 東京：277 円（1本）

➤ 大阪：274 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：4/20（前月 4/20）

➤ 大阪：2/10（前月 1/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○216g/人（6月全国平均）

➤ 前月比：91%

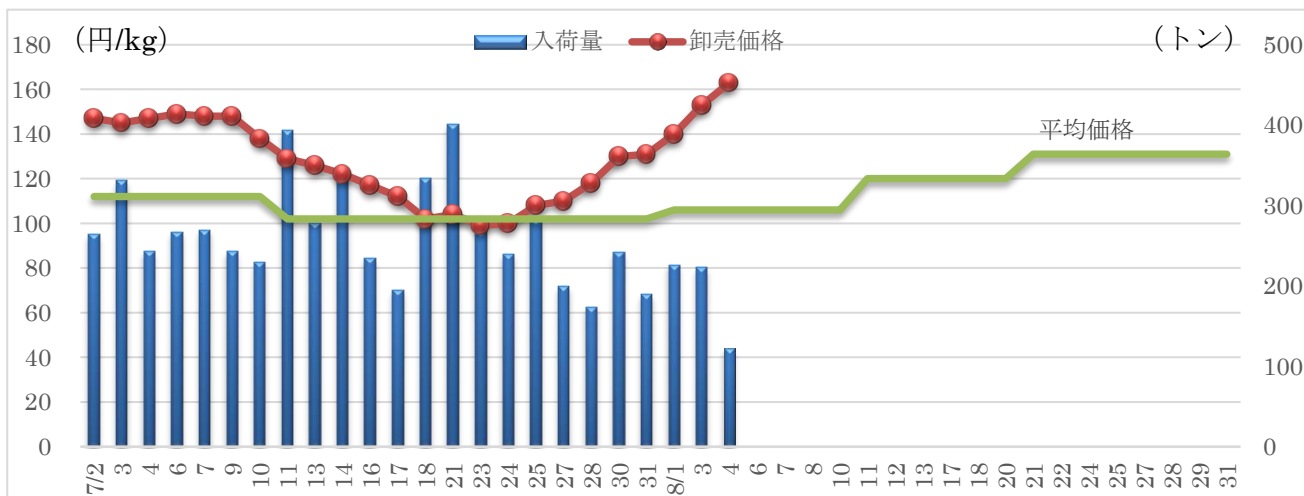
➤ 前年同月比：120%

○3,417g/人（2025 年年間）

➤ 前年比：100%

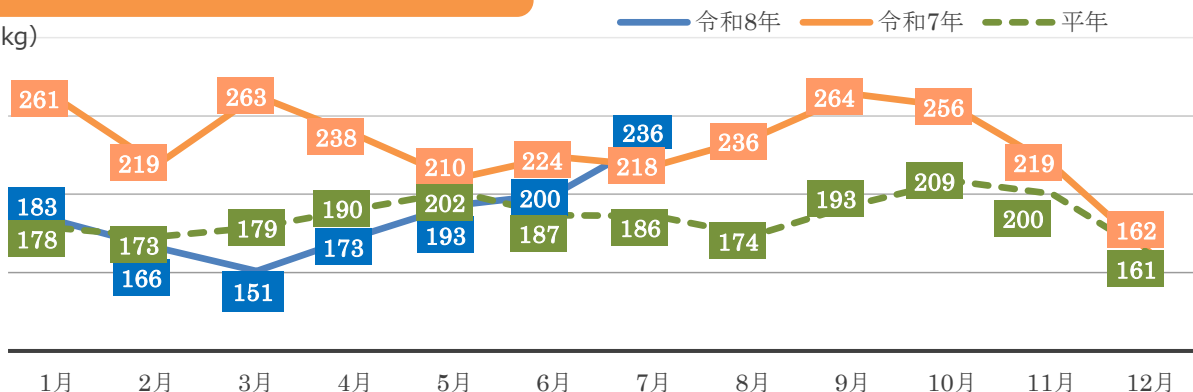
（総務省統計局家計調査）

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. だいこんの小売価格の推移

（円/kg）



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県おいらせ (7/7)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



青森県おいらせ：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50%	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
	太平洋側	高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50%	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60%	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

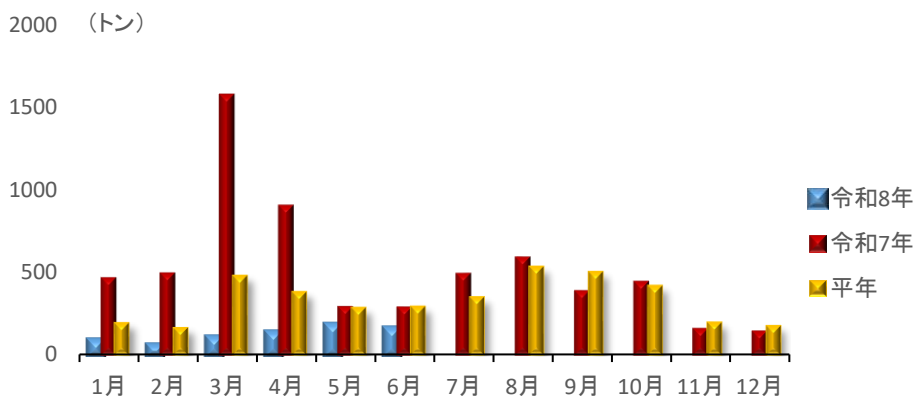
○153トン (6月輸入量)

➢ 前年同月比：54%

○輸入先国ベスト3

1位 中国	145トン
2位 豪州	4トン
3位 オランダ	4トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、北海道・青森産主体の入荷となった。6月の低温や梅雨明け以降の高温などから月を通して平年を下回る入荷となった。上旬は入荷が少なかったために平年を大幅に上回ったが、中旬以降は入荷も増えたこと、高温で需要の減退などから、旬を追うごとに価格は下がったが、月を通して平年を上回った。

8月は、北海道・青森産主体の出荷となる。両産地とも現在の生育は概ね順調で、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課